

労働安全衛生ニュース No.2 (2016年7月5日号)

発行：フード連合(労働局)

死亡事故が発生しています！

フード連合内緊急重大災害発生状況報告集計結果について(2015年9月～2016年4月)

各単組から2015年9月～2016年4月の間に報告のあった「緊急重大災害」についてご報告します。報告のあった7件のうち、災害型別内容は以下の通りです。

(件)

	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	高温・低温物との接触	交通事故	その他	合計
2016年	0	2	0	0	0	2	1	0	2	7
(参考)2015年	1	1	2			7	1		1	13
(参考)2014年						4	1			5
(参考)2013年		2				5			2	9



また、今回報告のあった7件のなかでは、**死亡災害が1件発生**しています。

以下、災害事例(①場所②作業内容③発生状況④災害の状態⑤組合・安全委員会の対応)を共有致します。

(事例) 2016年2月14日 50歳・男性・正規従業員 勤続13年

① 硬化室内スパイラルコンベアメインチェーンおよびsprocket付近

② 1人作業で、回転中のスパイラルコンベアメインチェーンにグリス塗布作業時

③ メインチェーンとsprocketに巻き込まれた

④ **死亡**

⑤ ・sprocket部分へ安全カバーを設置した。

・当初1人作業であったグリス塗布作業を、機械が停止した状態でチェーンにグリスを塗布するグリス塗布者と、寸動にて機械を動かす機械操作者の2人作業へ変更した。なお、合図や応答は双方の姿が確認できる状態で行なうこととし、作業変更に伴い作業手順書の改定を実施した。

・専用の灯光器の設置を義務付け、作業場必要な照度を確保した。

・チェーンの下部に防護柵を設置し、チェーン内側への立ち入りをできなくした。

・作業手順書の内容に沿って、作業前の危険予知を必ず行なうこととした。

・他工場の類似設備において実施されている点検・整備作業を参考にし、グリス塗布作業の頻度を見直す。

・「回転中の機械への作業をしない」を大前提に、類似作業を洗い出し、リスクアセスメントを実施する

・会社としても工場に安全選任者を一人常駐させ、意識改革や設備・作業改善など、長期的に工場全体の安全対策を行なっていく。

●労働者の意識・行動を予測した対策・教育徹底を

上記事例の発生要因を検証した所、はさまれ・巻き込まれ災害の根本的な原因である「運転中の機械に手を出してしまった」事にありました。

管理面においては、運転中の機械に手を出してしまう事を前提とした対策の検討、また、ヒトへの対策として、いわゆるKYT(危険予知トレーニング)やヒヤリハットの事例収集および共有、指さし呼称による安全確認を行なうなど、痛ましい事故を発生させないよう各事業場で継続的な対策を行ないましょう。

※当該ニュースのデータ版は、フード連合HP→フード連合の活動→労働局ページに掲載中です